

OCIjp

Oracle Cloud Infrastructure
User Community

ORACLE

Breakthrough
Starts Here

Are you ready?

#00W19

CCoE(Cloud Center of Excellence)に関する考察

2022年2月15日 OCIjp #27

OCIjp運営事務局

(出典)OCIjp運営事務局撮影の写真

アジェンダ

1. 背景(なぜこのキーワードが注目されているか)
2. CCoE(Cloud Center of Excellence)とは何か
3. OCIをターゲットとして検討する場合の考察
4. まとめ

免責事項

- 資料作成時点(2022年2月上旬)の公開情報に基づいて記載しているため内容が一部異なる場合があります。
- 最新の情報については各クラウドの公式サイトをご確認頂きたいです。
- 本プレゼン内容はOCIjp運営事務局の理解に基づいており、事実と異なる可能性があることをご了承いただきたいと思います。

推薦図書

■ DXを成功に導くクラウド活用推進ガイド CCoEベストプラクティス

- 出版社 : 日経BP
- 発売日 : 2021/11/11
- 単行本 : 220ページ
- ISBN-10 : 4296070150
- ISBN-13 : 978-4296070152

参考記事

■ 日本オラクル、Oracle Cloud導入メリットの最大化を支援するコンサルティング・サービスを提供開始 (2021/11/09)

■ ミッション・クリティカルなシステムのクラウド導入・移行の豊富な経験や知見に基づき、アセスメント、ポリシー策定からナレッジ、人材育成まで組織的な対応を包括的に支援する「Cloud Center of Excellenceサービス」

<https://www.oracle.com/jp/news/announcement/ccoe-service-jp-20211109/>

1.背景 (なぜこのキーワードが注目されているか)

■ クラウドサービスがもたらしたもの

俊敏性

- ・サーバーやネットワーク機器などを独自に手配する必要がなくなった

コストメリット

- ・イニシャルコストの削減は衝撃的
- ・スケールもしやすく運用負荷も低い

新技術

- ・インパクトの強い三種の神器
AI/IoT/Blockchain

新たな開発手法

- ・クラウドネイティブなアプリケーション開発 (CI/CD)



既存のIT環境を刷新する

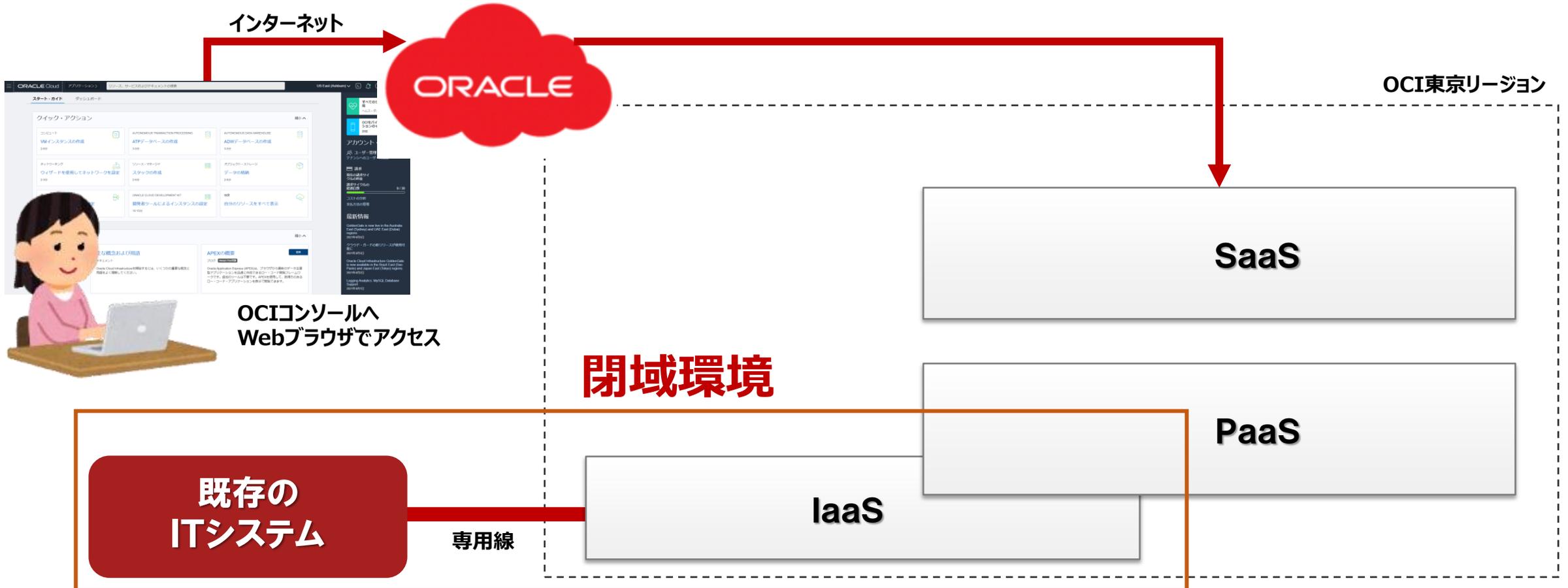
DXを加速させる

企業改革の推進力そのもの

1. 背景 (なぜこのキーワードが注目されているか)

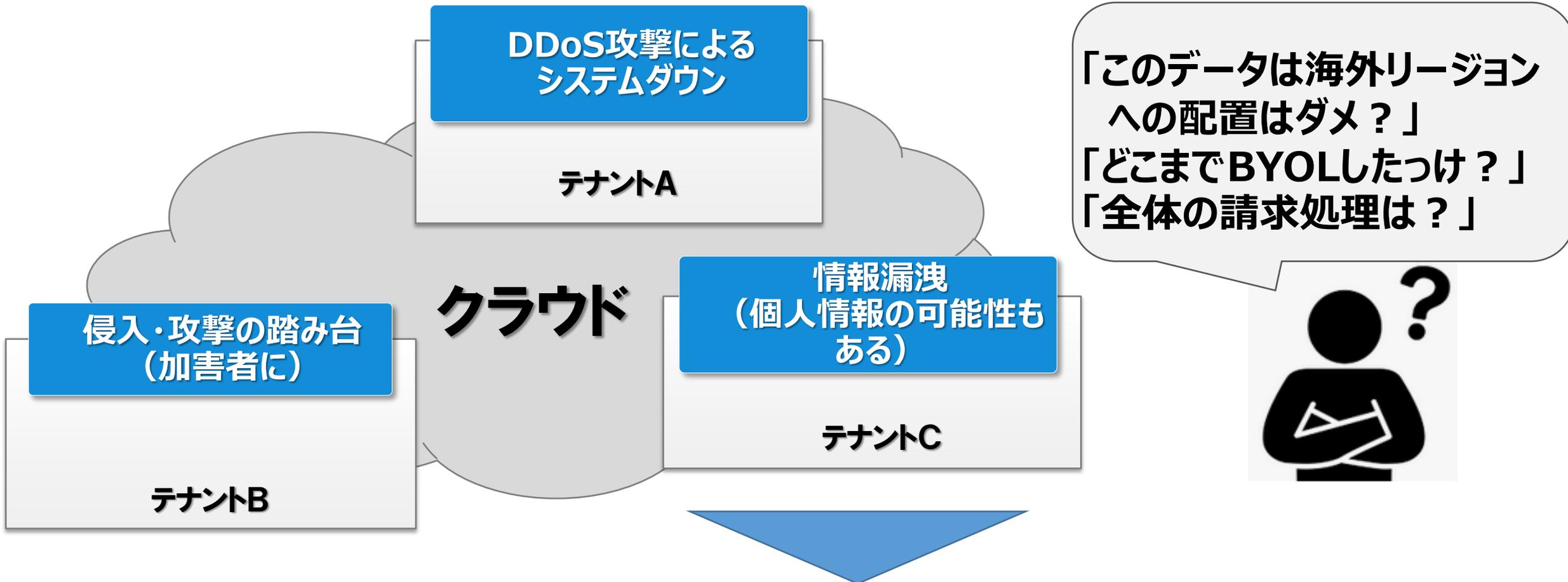
- ただし、本当の意味で企業全体で活用していくには課題もある

一部のサービスはネットワーク的に外部の環境となる



1.背景 (なぜこのキーワードが注目されているか)

- その結果起きること (企業にとっては死活問題のセキュリティ・インシデントの多発)



ガバナンスの上、クラウドのメリットをいかにして享受するか

2.CCoE (Cloud Center of Excellenceとは何か)

- CoE (センターオブエクセレンス : center of excellence)

企業の中核をなす組織もしくは研究機関

クラウド活用を目的とする場合



CCoE (Cloud Center of Excellence)

情報システム部

セキュリティ部門

DX推進部門

研究開発部門

利用部門



2.CCoE (Cloud Center of Excellenceの役割)



3.OCIをターゲットとして検討する場合の考察

3-1

ロードマップの策定

3-2

ガイドラインの策定

人材育成

3-6

3-3

オペレーション

ナレッジ共有

3-5

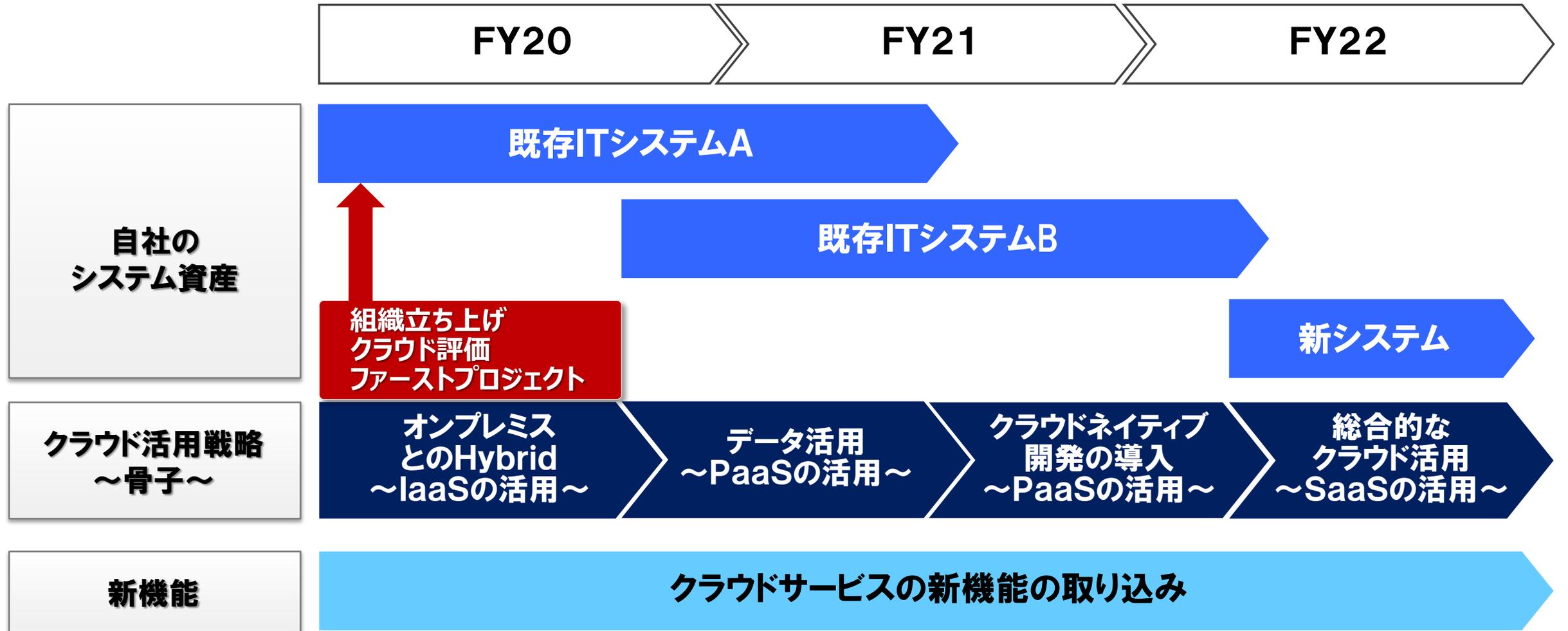


プロジェクト・サポート

3-4

3-1.ロードマップの策定

- 自社のシステム資産を軸にどのようにクラウド活用戦略をマッピングするかを策定



3-1.ロードマップの策定

- 今期もOCIは多くのリリースがありました
- **リリース情報の継続的なキャッチアップとロードマップへの取り込みは重要項目です**

DC/安全性評価

■ ISMAPへ登録されました

政府情報システムのためのセキュリティ評価制度。OCIは政府が求めるセキュリティ要求を満たしているクラウドサービスです。

■ 新規リージョンが続々とオープン

- Israel Central (Jerusalem)
- France South (Marseille)
- Singapore (Singapore)
- UAE Central (Abu Dhabi)
- Italy Northwest (Milan)
- Sweden Central (Stockholm)

■ Roving Edge Infrastructure

IaaS

■ さらなる柔軟性の獲得

選択可能なプロセッサの強化

サーバー向けArmプロセッサ(Ampere Altra)の登場。
AMD/Intel/NVIDIA(V100及びA100グラフィック・プロセッサ)と合わせて選択肢が増えました。

フレキシブル・インフラストラクチャ

- Flexible Load Balancer
- Flexible VM
- Flexible Storage
- Autonomous Database

PaaS

■ 強力なDBサービスの拡充 MySQL

- MySQL Heatwave
- MySQL Autopilot

Oracle Database

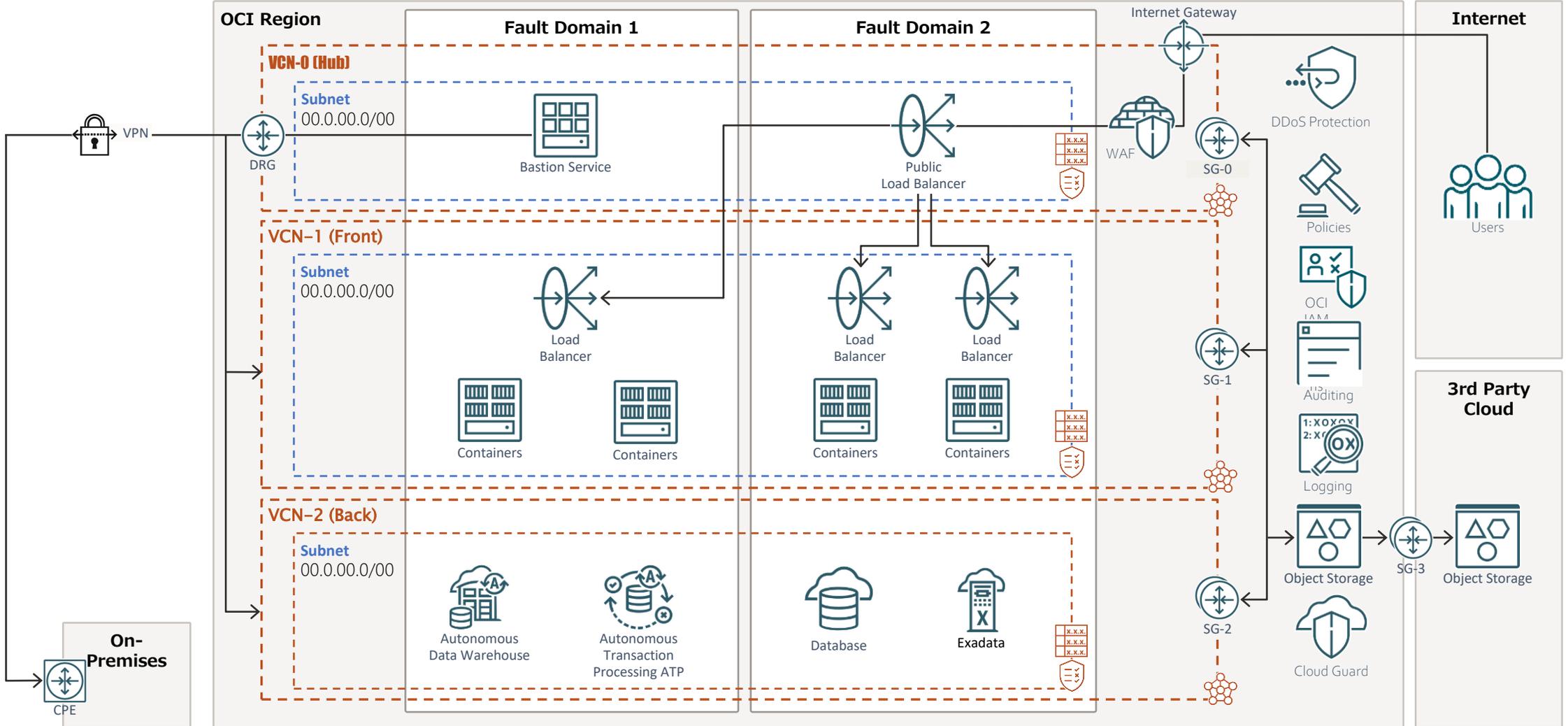
- Oracle Autonomous JSON Database

■ AI Services for OCIの登場

- OCI Language
- OCI Speech
- OCI Vision
- OCI Anomaly Detection
- OCI Forecasting
- OCI Data Labeling

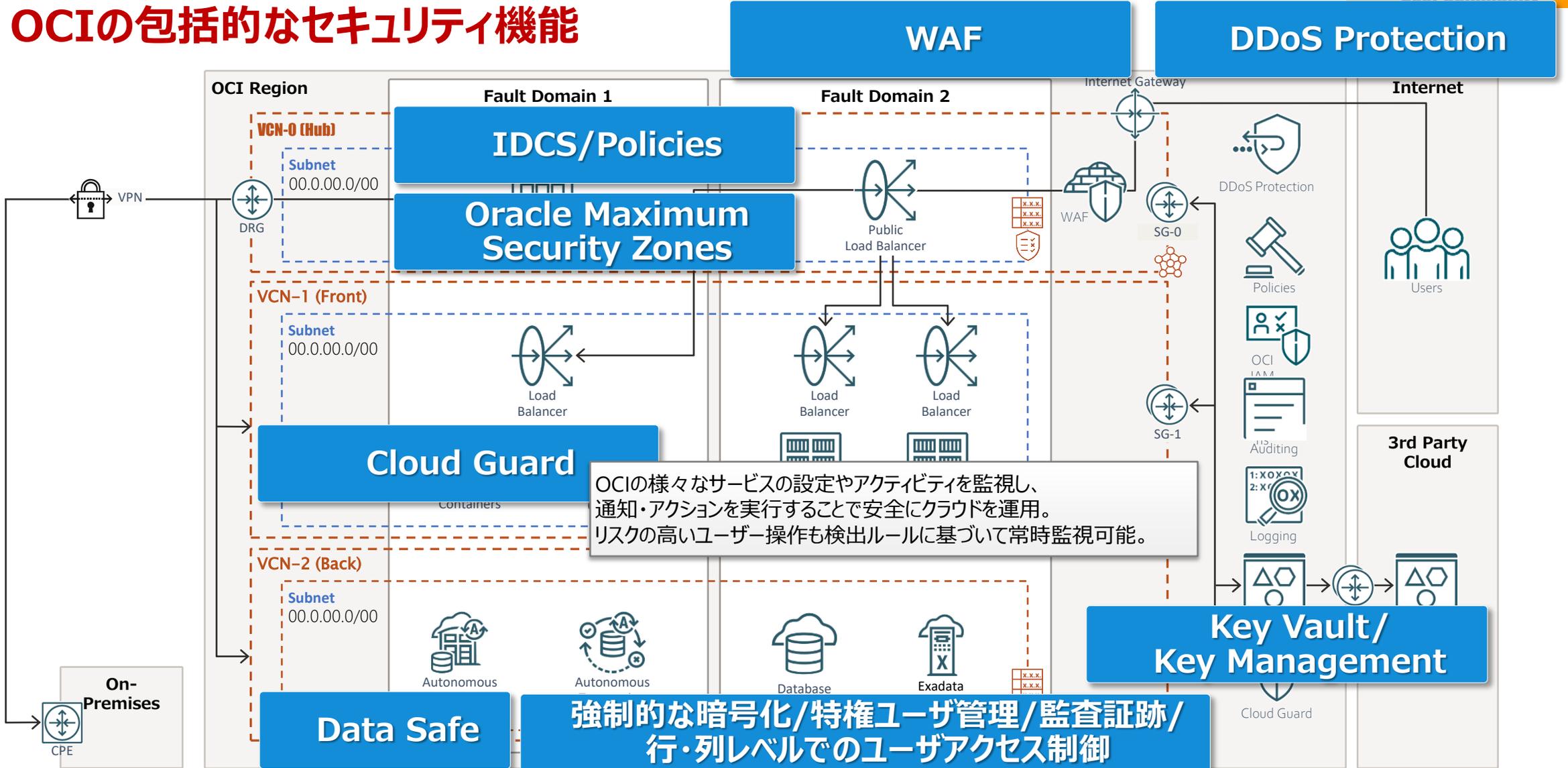
3-2.ガイドラインの策定

■ 自社セキュリティガイドへの準拠



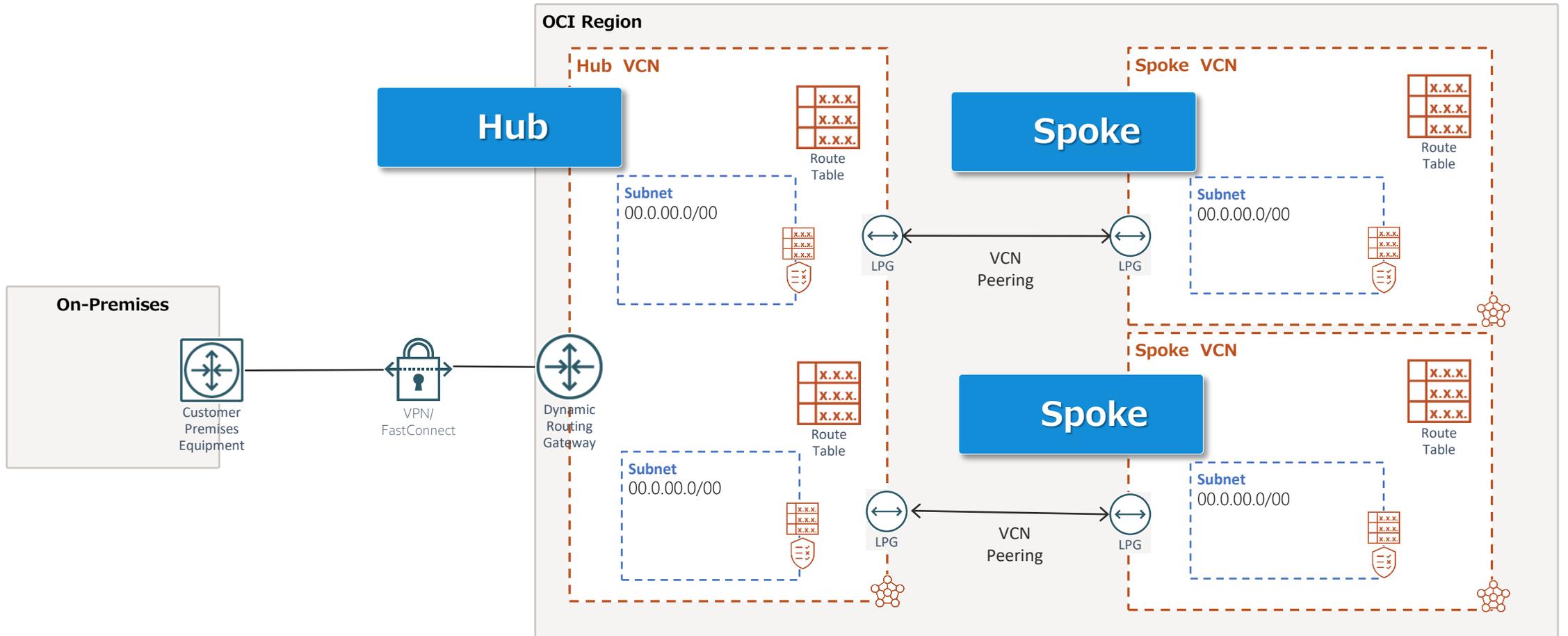
3-2.ガイドラインの策定

OCIの包括的なセキュリティ機能



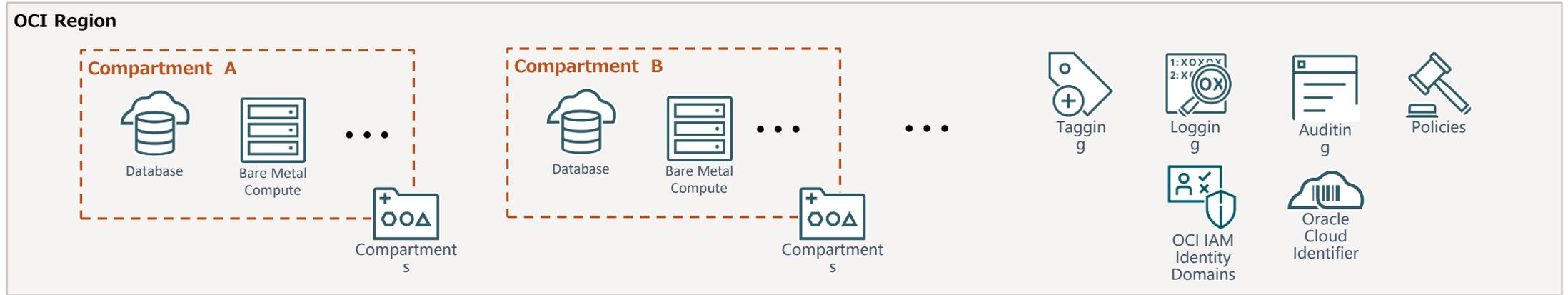
3-2.ガイドラインの策定

- 共通機能の準備 (ネットワーク)
- 転送ルーティングを用いて接続を共有化して回線費用のコストを抑える



3-2. ガイドラインの策定

■ 共通機能の準備（テナント管理、ID管理、ログ管理、請求管理他）

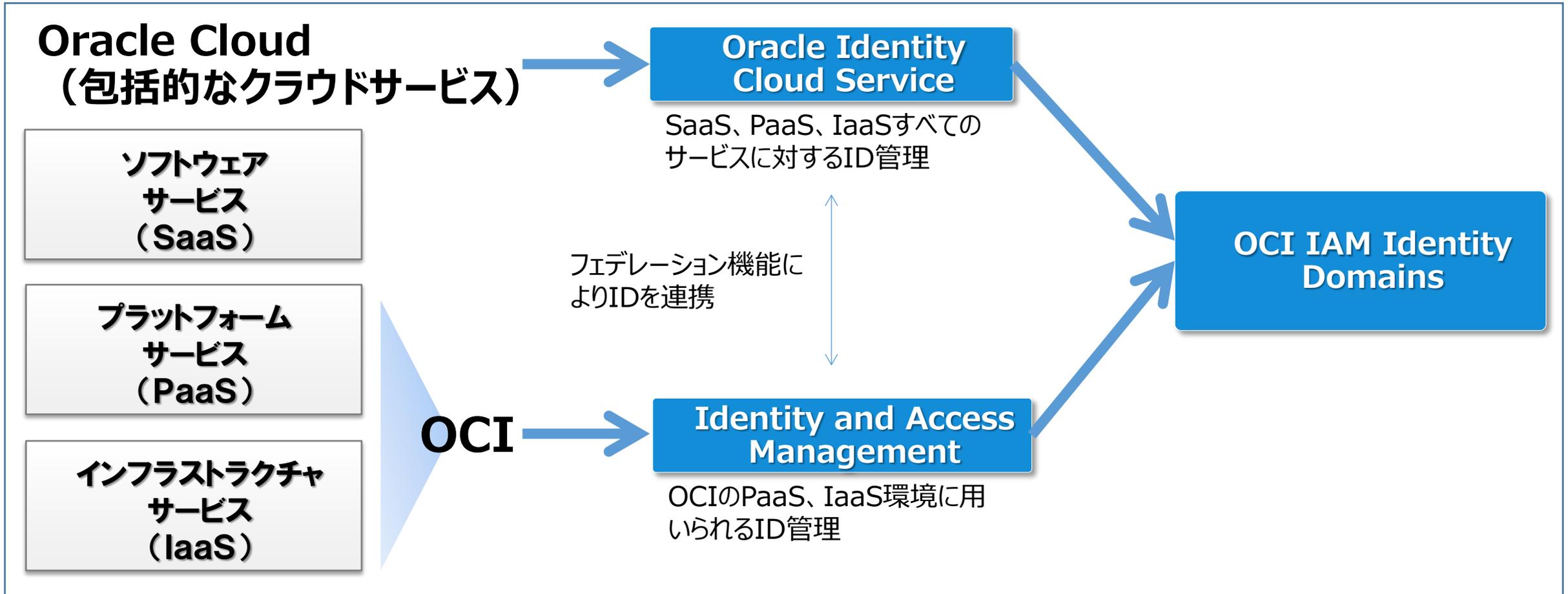


■ Organizationの活用（組織管理サービス）

- 複数テナンシの請求やコスト管理を一元化
- 新しいテナンシーを作成してテナンシーを複数管理したり、既存のテナンシーをリンクして、単一の組織の配下にグループ化することも可能。
サブスクリプションを表示して、組織内のテナントにマップすることも可能。

3-2. ガイドラインの策定

■ OCI IAM Identity Domains (2021年11月リリース)



3-2.ガイドラインの策定

- OCI IAM Identity Domainsは5つの課金タイプがあります。
- OCIマニュアル「IAMアイデンティティ・ドメイン・タイプ」参照
(出典) <https://docs.oracle.com/ja-jp/iaas/Content/Identity/sku/overview.htm#overview>

機能	空き	Oracleアプリケーション	Oracle Apps Premium	保険料	外部ユーザー
IAMの主な機能					
ユーザーおよびグループ管理	✓	✓	✓	✓	✓
エンドユーザー自己登録	-	✓	✓	✓	✓
セルフサービスのプロファイル管理	✓	✓	✓	✓	✓
アカウント・リカバリ(Eメール、SMS、セキュリティ質問によるセルフ・サービス・パスワードのリセット)	✓	✓	✓	✓	✓
デフォルト・パスワード・ポリシー	✓	✓	✓	✓	✓
グループベースのパスワード・ポリシー	✓	✓	✓	✓	✓
外部アプリケーションのサポート*					
サードパーティ・アプリへのアウトバウンドSSO	✓	✓	✓	✓	✓
	2つの外部アプリの制限	2つの外部アプリの制限	6つの外部アプリの制限	制限なし	

パスワードレス認証	✓	✓	✓	✓	✓
サインイン・ポリシー(条件-認証元、グループ、管理者、除外、ネットワーク・ソース、組込みリスク・エンジン)	✓	✓	✓	✓	✓
アプリケーションSDK	✓	✓	✓	✓	✓
Oracle SaaS統合					
Oracle CloudサービスのSSO	✓	✓	✓	✓	✓
Oracle Cloudサービスのユーザー・プロビジョニング(アカウント・フォーム、カスタム属性、フィルタなどを使用)	✓	✓	✓	✓	-
Oracle AppおよびSaaS拡張のOAuth/Token管理 ²	✓	✓	✓	✓	-
レポート					
監査およびレポート	✓	✓	✓	✓	✓



3-2.ガイドラインの策定

■ OCI IAM Identity Domainsは5つの課金タイプがあります。

課金タイプ	デフォルト	Oracleアプリケーション	Oracle Apps Premium	Premium	External User
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・テナント作成時に標準として作成される課金タイプ ・OCI IaaS/PaaSへのアクセス管理を行える 	<ul style="list-style-type: none"> ・Oracle CloudのSaaS/PaaS、Oracleアプリケーションへのアクセス管理を行える 	<ul style="list-style-type: none"> ・「デフォルト」と「Oracleアプリケーション」課金タイプを合わせたアクセス管理を行える 	<ul style="list-style-type: none"> ・完全なIAM機能セットに加えて、Oracle以外のアプリケーションに対するアクセス管理を行える 	<ul style="list-style-type: none"> ・完全なIAM機能セットを提供、コンシューマ向けのアプリケーションに対するアクセス管理を行える
機能制限	あり	あり	あり	なし	あり
価格	無償	無償	¥30 (User Per Month)	¥384 (User Per Month)	¥1.92 (User Per Month)

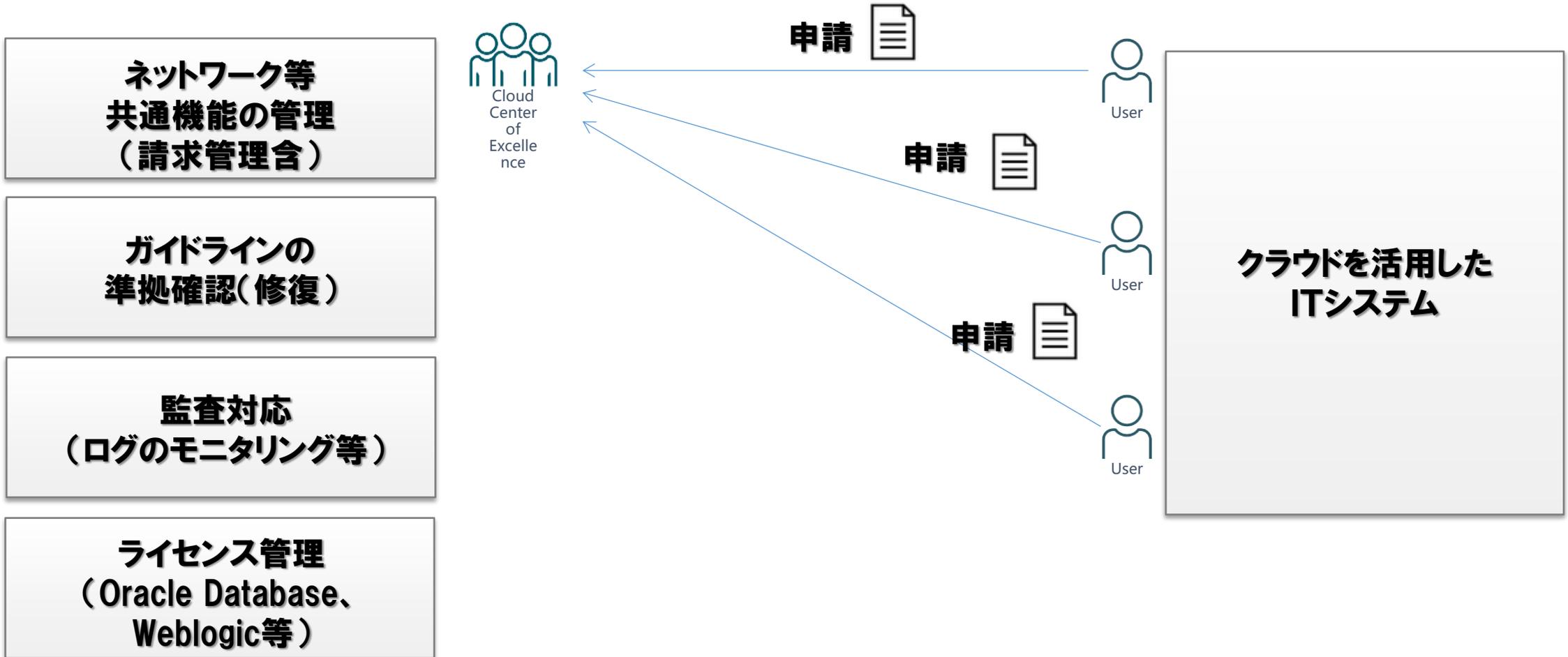
3-2.ガイドラインの策定

- 共通機能の準備（自社内で利用可能サービスの選定）
- 新サービスを自社内へ展開する前に検証／評価し、リストを更新
- **OCIに拘らず自社にとって最適なものを選択肢とすることも、ひとつの判断**

Screen Only

3-3.オペレーション

- 共通機能をはじめ、CCoEは資産の保有・管理／監査対応等オペレーションを担う
- 共通機能を保有する以上、払い出しも担うこととなり、申請型の受付フローを整備



3-3.オペレーション：正当性の担保

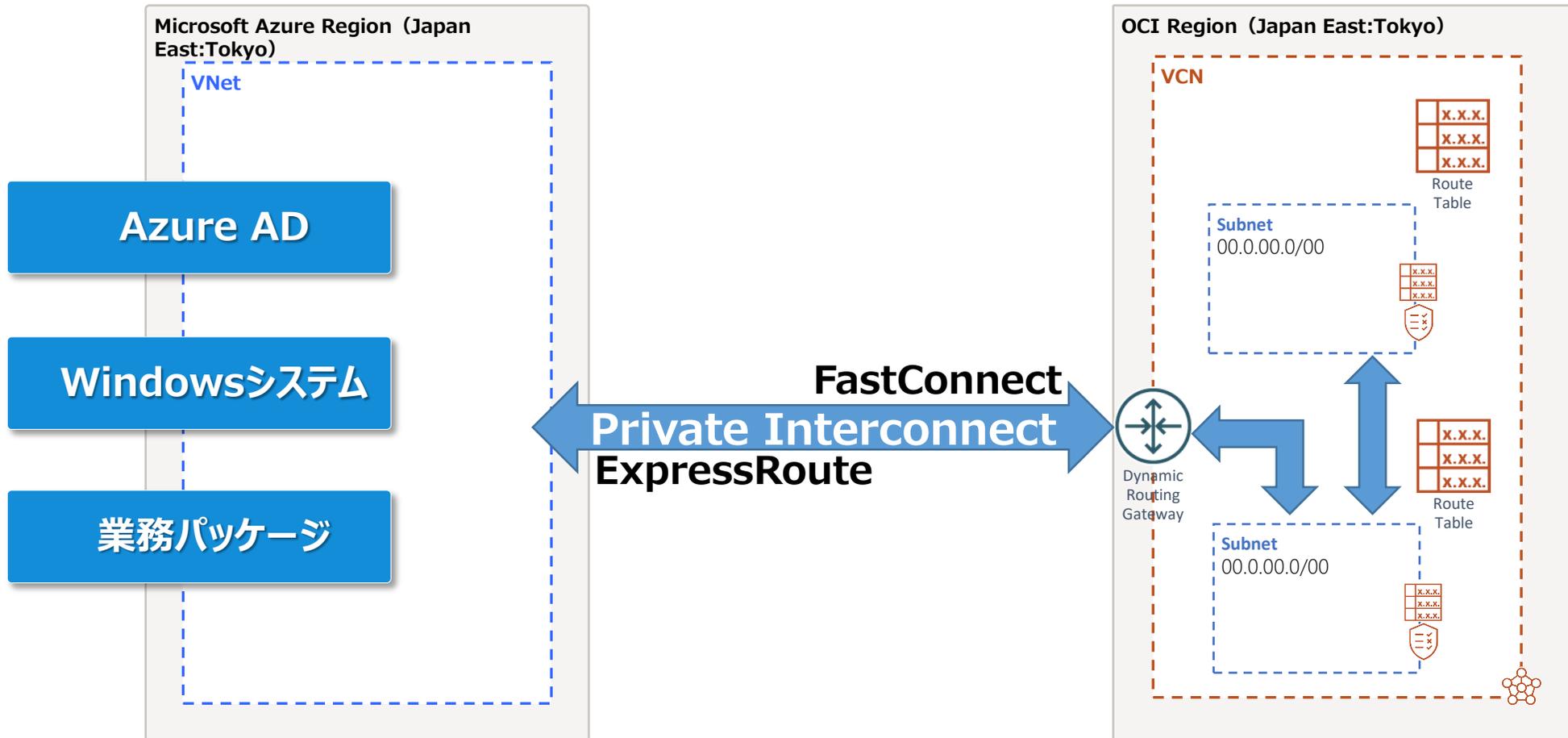
Screen Only

3-3.オペレーション：負荷軽減

Screen Only

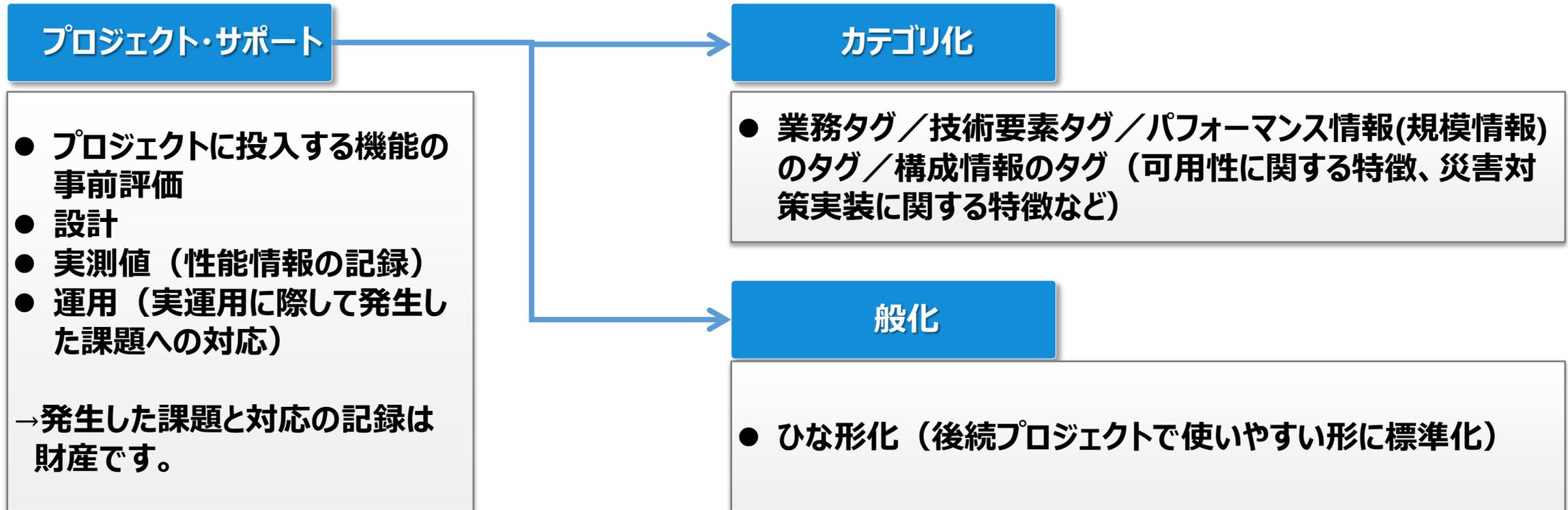
3-4.プロジェクト・サポート

- CCoE立ち上げ当初から、すべてを整えることは難しい
- プロジェクトを通して獲得する実装もある



3-5.ナレッジ共有

- 新機能／新サービスの情報、ガイドラインの改定案内
- プロジェクト・サポートを通じて獲得した実装の共有



3-6.人材育成

■ CCoEメンバの専門性確立と所属組織へのフィードバック



■ 全社向け

無償学習プログラムと期間限定無償受験等のオファリングを取り入れながら組織的な働きかけ。OCIjpのおすすめとしてはOCI資格だけでなく、ORACLE MASTERもおすすめします（こちらにも無償公開研修コンテンツなど取得支援プログラムがあります）

4. 日本オラクル様の支援サービス

- Keyとなるサービスを3つほどご紹介

Oracle Cloud Lift Services (2021年7月～)

(出典) <https://www.oracle.com/jp/corporate/pressrelease/jp20210708.html>

Oracle Cloud Lift Servicesの国内提供を開始、お客様のクラウド移行を促進
新規および既存のお客様に、Oracle Cloud Infrastructureへのワークロードの移行を効率化するための
クラウド・エンジニアリング・リソースと技術サポートを追加コストなしで提供
Tokyo, Japan—2021/07/08

クラウド移行の計画、設計、プロトタイピング、および管理に関する支援を受けられます。

4. 日本オラクル様の支援サービス



Data Driven Digital Transformationスタートアップ・サービス（2021年11月～）

（出典） <https://www.oracle.com/jp/news/announcement/dddx-service-jp-2021-11-10/>

お客様のビジネス・バリューチェーンからデータ利活用戦略を策定し、
デジタル技術実装までを約3か月で行うコンサルティング・サービス
東京ー2021/11/10

約3か月を目安としてデータ活用を中心としたDX具現化のための支援を受けられます。

- ビジネス・バリューチェーンの理解：お客様と日本オラクルがビジネス・バリューチェーン、競争優位性の共通理解を行います
- データ鳥瞰図作成：ビジネス・バリューチェーンを元に、競争優位性の源泉となるデータ鳥瞰図を作成します
- データ利活用ディスカッション：データ鳥瞰図を使いながらビジネス・ユーザーとIT組織のワークショップを行い、データ利活用戦略を策定します
- デジタル・テクノロジー・ラボの実施：データ利活用戦略に基づき、日本オラクルのコンサルタントが「Oracle Cloud Infrastructure」で実装する最新デジタル技術を活用しながら体験できるデジタル・テクノロジー・ラボ（Digital Technology Lab）を実施します

4. 日本オラクル様の支援サービス

Cloud Center of Excellence(CCoE)サービス (2021年11月～)

(出典) <https://www.oracle.com/jp/news/announcement/ccoe-service-jp-20211109/>

ミッション・クリティカルなシステムのクラウド導入・移行の豊富な経験や知見に基づき、アセスメント、ポリシー策定からナレッジ、人材育成まで組織的な対応を包括的に支援する「Cloud Center of Excellenceサービス」
東京—2021/11/09

- アセスメント&ロードマップ：現有IT資産の把握、見える化、分析などクラウド化に向けたIT資産の棚卸を短時間で実施し、多数のお客様のシステム基盤に対し設計、構築、運用してきたナレッジをもとに移行プランを策定
- ポリシー策定&CCoE立上げ：企業内の技術に対する組織の立ち上げ、運営支援の豊富な経験や知見をもとに、具体的なクラウド導入ポリシーの策定と、CCoE組織の立上げ支援
- ガバナンス&ガイドライン：「Oracle Cloud Infrastructure」を中心とする基盤技術のテクニカル・アーキテクチャの標準化およびガイドラインの策定、および統制支援
- プロジェクト・サポート：プロジェクトに対する技術支援、参考資料の提供や資料に基づいたレクチャーの実施、考慮点や注意点、他社事例を含めた回答などをオンデマンドで提供
- オペレーション：リスク分析および基準、計画への反映から定期的なセキュリティ・ヘルスチェックの実施とパッチ適用を支援、およびコスト管理やログ管理、定期レポートなどの通常運用の省力化支援
- ナレッジ&人材育成：クラウド人材育成における目標設定、改善プロセスの実施、スキル見える化および継続的なスキル向上を支援。オラクルのクラウドネイティブの最新技術を勉強会、ワークショップなどで提供

4.まとめ

3-1

ロードマップの策定

3-2

ガイドラインの策定

CCoE



人材育成

3-6

3-3

オペレーション

ナレッジ共有

3-5

プロジェクト・サポート

3-4

OCIの有用な技術情報のありか



■ OCIチュートリアル

<https://oracle-japan.github.io/ocitutorials/>



チュートリアル - Oracle Cloud Infrastructure を使ってみよう

このドキュメントは Oracle Cloud Infrastructure (OCI) を使っていろいろという人のためのチュートリアル集です。各項ごとに画面ショットなどを交えながらステップ・バイ・ステップで作業を進めて、OCIの機能についてひととおり学習することができます。 [OCI活用資料集](#) とあわせてご利用ください。

また、このページのチュートリアルのうち、入門編を元にしたウェビナーのハンズオンも定期開催しています。最新の予定は [こちら](#) のウェビナー案内ページをご確認ください。(集合形式でのハンズオン・セミナーは、感染症予防のためしばらくお休み予定です)

本ドキュメントの間違いや、不正確な記述などを見つけた場合は、[こちら](#)からissue登録にてご連絡ください。

準備 - Oracle Cloud の無料トライアルを申し込む

■ OCI活用事例集

<https://oracle-japan.github.io/ocidocs/>



Oracle Cloud Infrastructure 活用資料集

Oracle Cloud Infrastructure (OCI) を使っていろいろという人のためのリンク集です。技術資料については定期的にアップデートしていますので、最新のものをご利用ください。また、実際にOCIを触って学習したいという方には [Oracle Cloud Infrastructure チュートリアル](#) も合わせてご利用ください。

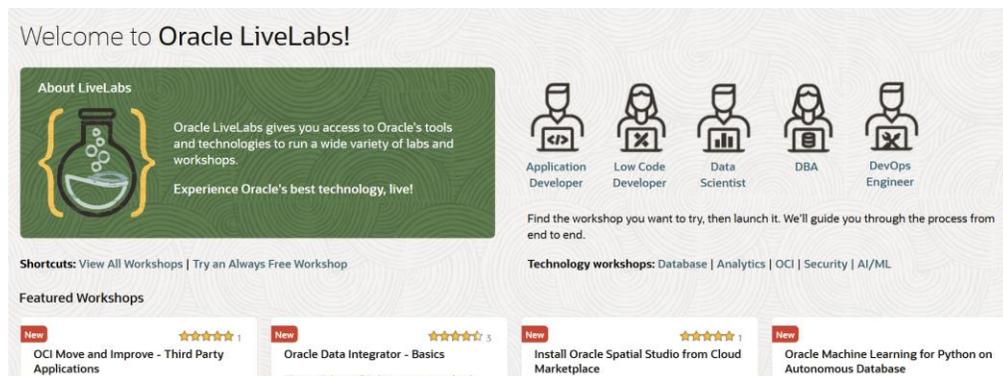
最近アップデートされた資料

[Oracle Cloud Infrastructure IaaS 新機能アップデート 2020/12~2021/2](#)

March 5, 2021
2020年12月~2021年2月の3ヶ月分のOCI新機能についてのまとめ資料です

■ Oracle LiveLabs

<https://apexapps.oracle.com/pls/apex/dbpm/r/livelabs/home>



Welcome to Oracle LiveLabs!

About LiveLabs

Oracle LiveLabs gives you access to Oracle's tools and technologies to run a wide variety of labs and workshops.

Experience Oracle's best technology, live!



Application Developer Low Code Developer Data Scientist DBA DevOps Engineer

Find the workshop you want to try, then launch it. We'll guide you through the process from end to end.

Technology workshops: Database | Analytics | OCI | Security | AI/ML

Shortcuts: View All Workshops | Try an Always Free Workshop

Featured Workshops



■ Oracle Cloudウェビナー

Oracle Cloud ウェビナーシリーズは、毎週水曜日/木曜日の午後、初心者向けから中級、上級者編まで、Oracle Cloudの詳細をお届けします



イントロシリーズ

“まずはここから”をコンセプトにしたオラクルクラウドのご紹介とビジネス課題を解決したお客様事例やその時々ホットなトピックをお届けします



ファンデーション (基礎) シリーズ

“基本を知ろう”をコンセプトに利用開始に必要なオラクルクラウドの各サービスをご紹介します



プロフェッショナル (応用) シリーズ

“より深く知ろう”をコンセプトにエンジニアによるテクニカル観点で有益な情報をお届けします

ユーザグループ「OCIjp」



<https://fullenergy-oci.connpass.com/>

- パブリック・クラウドを盛り上げていくのはやはりユーザの気持ちが一番大事です！
- これからも継続参加をお願い致します。
- 座談会・LTにお気軽にご参加下さい！！
- お待ちしております。
- アンケートの回答もぜひお願いします。



OCIjp
Oracle Cloud Infrastructure(OCI)のユーザーグループです

開催前イベント ▶ もっと見る
2021/08/17(火) OCIjp #21 Oracle Cl...

イベント メンバー 資料 B! 0 いいね! 1 ツイート メンバーになる

グループの説明

Oracle Cloud Infrastructure(OCI)に関する勉強会を開催するグループです。
OCIユーザーや、OCIに興味のあるエンジニアが集まって、ノウハウの共有をしています。

【次回イベント】
8/17(火) 19:00~
OCIマスターへの道~再入門編~

【2020年アドベントカレンダー】
<https://qiita.com/advent-calendar/2020/oci>

メンバー (421人)

管理者
他のメンバー

リンク
株式会社フルエナジー



Endless Possibility
Starts Here

(出典)OCIjp運営事務局撮影の写真

OCIjp

Oracle Cloud Infrastructure
User Community